

受付印	<input checked="" type="checkbox"/> 調停 家事 申立書 事件名 審判	<input checked="" type="checkbox"/> 婚姻費用分担請求 婚姻費用増額請求 婚姻費用減額請求
この申立書を提出する裁判所名 印紙 円 郵便切手 円	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。) <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">印紙</div> (貼った印紙に押印しないでください。) 準 口 頭	

この申立書を提出する裁判所名

この申立書を作成した日

平成 年 月 日 東京 家庭裁判所 御中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	甲 野 花 子 印
-------------------------	-----------------------------	-----------

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 戸籍謄本(全部事項証明書)(内縁関係に関する申立ての場合には不要) <input checked="" type="checkbox"/> 申立人の収入に関する資料(源泉徴収票、給与明細、確定申告書)	準 口 頭
------	---	-------

相手方に知らせてもよい住所を記載し、併せて「連絡先等の届出書」を提出してください。連絡先を相手方に秘匿したい場合には、同届出書に「非開示の希望に関する申出書」を付けて提出してください。

申立人	住所	〒 東京都 区 ××× 丁目 番	昭和 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名	コウノハナコ子 甲野花子	
相手方	住所	〒 東京都 区 ××× 丁目 番号 アパート 号 (方)	大正 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名	コウノタロウ 甲野太郎	昭和 年 月 日生 (歳)
未成年の子	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / 相手方と同居 その他()	平成 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名	コウノイチロウ 甲野一郎	
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / 相手方と同居 その他()	平成 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名	コウノジロウ 甲野次郎	
	住所	申立人と同居 / 相手方と同居 その他()	平成 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名		(歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。 の部分は、該当するものにチェックしてください。

申立ての趣旨は、当てはまる番号を で囲んでください。
の部分は、該当するものにチェックしてください。

金額がはっきりしない
ときは、「相当額」を選
択してください

申 立 て の 趣	
(<input checked="" type="checkbox"/> 相手方 / 申立人) は、(<input checked="" type="checkbox"/> 申立人 / 相手方) に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの(<input checked="" type="checkbox"/> 調停 / 審判) を求めます。	
1	毎月(<input checked="" type="checkbox"/> 金.....円 / 相当額) を支払う。
2	毎月金.....円に増額して支払う。
3	毎月金.....円に減額して支払う。

初めて同居をした日

別居している場合、直近の別居をした日

申 立 て の 理			
同居・別居の時期			
同居を始めた日.....	昭和.....年.....月.....日	別居をした日.....	昭和.....年.....月.....日
平成		平成	

婚姻費用の取決めについて

- 1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取り決めの有無
あり(取り決めた年月日:平成.....年.....月.....日) なし
- 2 1で「あり」の場合
 - (1) 取決めの種類
口頭 念書 公正証書 (.....家庭裁判所.....(支部 / 出張所))
調停 審判 和解 (平成.....年(家.....)第.....号)
 - (2) 取決めの内容
(相手方 / 申立人) は、(申立人 / 相手方) に対し、平成.....年.....月から.....まで、毎月.....円を支払う。

婚姻費用の支払状況

現在、毎月.....円が支払われている(支払っている)。
平成.....年.....月ころまで、毎月.....円が支払われていた(支払っていた)
が、その後、(減額された(減額した) / 支払がない(支払っていない)。)
支払はあるが、一定しない。
 これまで支払はない。

婚姻費用の分担の増額または減額を必要とする事情(増額・減額の場合のみ記載してください。)

申立人の収入が減少した。 相手方の収入が増加した。
申立人が仕事を失った。
申立人自身・未成年者にかかる費用(学費 医療費 その他)が増加した。
その他(.....)